

令和8年度山梨県立ふじざくら支援学校

第1回学校運営協議会

日 時 令和8年4月28日(火) 10:00～11:30

会 場 山梨県立ふじざくら支援学校 視聴覚室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 学校長挨拶
- 3 学校運営協議会委員紹介
- 4 学校運営協議会の運営に関する要綱
- 5 運営協議会会長等選出
- 6 会長・副会長挨拶
- 7 校内見学
- 8 議事【議長 会長】
 - (1) 山梨県立ふじざくら支援学校運営基本方針(承認決裁)
 - (2) 山梨県立ふじざくら支援学校評価報告書
 - (3) その他
- 9 意見・懇談
- 10 連絡事項
 - (1) 令和8年度年間行事予定
 - (2) 今後の予定 第2回:10月6日(火) 10:00～11:30
第3回:2月16日(火) 13:30～15:00
 - (3) 個人番号の提供
- 11 閉会の言葉

令和8年度山梨県立ふじざくら支援学校

第1回学校運営協議会

◇9名の委員が出席、4名が欠席

◇山梨県ふじざくら支援学校学校運営協議会の運営に関する要綱

第3条(3) 業務量管理・健康確保措置の実施に関することを追加

◇校内見学

小学部の高学年体育。高等部の作業学習。中学部の国語、総合的な学習の時間等を見学

◇議事(議長 会長)

(1) 令和8年度山梨県立ふじざくら支援学校運営基本方針

- ・校長より、学校教育目標、グランドデザイン等について説明。
- ・「まずは組織づくり、人材形成を大切にしたい」という校長から教職員への訓示の内容について説明。
- ・学校業務量管理等実施計画について。令和7年度、本校では時間外在校時間が月80時間を超える職員はいなかった。月45時間以下の職員は87.5%とよい数値である。令和8年度の実施計画としては、45時間以上の職員への声掛け、月2回の定時退庁日の設定、自己観察書に具体的数値目標を設定するなど行う。人間関係も加味しながら働き方改革を進めていく。風通しがよく、先生方が、この学校に勤務して良かったと思える職場づくりをしていきたい。

委員：超過勤務について、県は段階的な取り組みなどを考えているのか。

校長：現状で示されているのはこの概要で、業務管理についての実施計画についても今年度からとなっている。

委員：80時間を超えている職員はいないが、同じ人が80時間ギリギリの状況も見られる。

教頭：職員の欠勤等やポジションによって、そのような状況があった。今年度はそうならないようしていきたい。

以上の質疑応答を経て、運営方針について承認を得た

(2) 令和8年度山梨県立ふじざくら支援学校学校評価報告書

- ・重点目標を関係する学部や分掌に振り分けて行っている。各学部、分掌等の年度末評価をしたうえで、学校関係者として委員の先生方に評価をいただいている。
- ・R8年度の評価報告書について。昨年度の学校運営協議会で頂いたご意見を加味し、4番の「豊かな心」については学校教育全体をとおして道徳教育や人権教育等も含めて大事にしていく評価指標とした。また、年度末に委員の先生方に評価を頂く枠を、昨年度から変更して、1～4、5～6、7、8の4つとした。委員の先生方が、とても丁寧に評価してくださるので、負担になりすぎないようにした。

委員：昨年度の学校評価でICTについての評価がBとなっているが、小中学校の現状として、ICTの活用については温度差がある。ここ数年で飛躍的に伸びてきた分野である。学校の中だけでなく家庭を含めて考えていかなければならない。今後の教育の方向性にかかせない部分である。その子の特性や環境に応じて取り組んでいかなければならないと考えているが、家庭との連携には様々な課題がある。支援学校での具体的な取り組みなどがあるか。

教頭：本校でも家庭との連携については、ICT を使った宿題の要望など家庭ごと様々な意見がある。学習のみではなく生活の中で使えるようにコンテンツの共有などを図っていきたいと考えている。支援学校には「日常生活の指導」があるが例えば、歯磨き動画が流れている間は着席して磨くなど、宿題というよりは、学校と家庭との取り組みの共有を図っていききたい。

(3) その他

委員：今回は時間割の関係でじっくり見学することができなかったので、小学部の見学を希望する。それぞれ特性のあるなかで、着席して学習に取り組んでいるなど、よいスタートができていると感じる。教員の表情もよかった。教師の姿が子どもに伝わる。良い姿が見れた。

委員：福祉の立場で参加させていただいている。子どもの表情と教員の表情を見て、誇りをもって取り組んでいることが感じられた。自身も誇りをもって支援することを職員に伝えている。福祉と教育の立場でお互いに協力、連携を図っていききたい。本日の見学は自身も勉強になる部分があった。福祉にも生かしていききたい。小学部1年生の授業見学を希望する。

委員：ふじざくら支援学校には今回初めて入り、子ども達の学習する様子を見させていただいた。環境や、設備がすばらしい。小、中、高等部を見学でき、子どもたちの成長も直にみることもできた。特に高等部では、作業学習で作った製品を販売するなど、自立につながる活動がされていると感じた。教員全体が特別支援の専門性を身に付けなければならないと思っている。ふじざくら支援学校コーディネーターに研修支援や訪問支援もしていただいている。今後もよろしくお願いいたします。

委員：4月のこの時期で、子どもたちが落ち着いていることがすばらしい。低学年の児童も椅子に座って机に向かっている。また、教員同士の人間関係の良さ、声の掛け合いなどよい印象をうけた。子どもたちも落ち着いているが、教師も潤沢にいることにより個々にフォローができていると感じた。特別支援の児童は、身体の軸がぶれていたり、ボディーイメージがもちにくかったり、調整力が課題であったりするが、小学部体育の授業のサーキットは場が適切に設定され、子どもたちにとって楽しみながら取り組めるよい授業だと感じた。